

課題解決に向けた行動計画

市立八幡浜総合病院

2023年度
第3回地域緩和ケア連携調整員研修（ベーシックコース）

【チームメンバー】

参加施設・所属	氏名（職種）
市立八幡浜総合病院	菊池 幸恵（看護師）
	高橋 樹里（MSW）
	濱中 優子（MSW）

令和5年度 第2回地域緩和ケア連携調整員研修（ベーシックコース）

市立八幡浜総合病院

①地域の課題

- ・家に帰りたいが、社会資源が乏しく、本人家族の希望通りに在宅へ帰ることが難しい。

(特に大島・三崎地区)

大島地区には大島診療所しかなく、医師は週2回(火・木曜日の半日)、看護師は月～金曜日、薬剤師はいない。

交通手段は船のみ。高齢化率は70%。

三崎地区は串診療所と門田医院のみ。

訪問看護師は八幡浜市から通っている。

②どのような地域を目指すのか

- 最期まで希望する地域で暮らせる街づくり。

③課題ごとに取り組むべきことは何か

- 限られた社会資源の明確化
- この課題に取り組むキーパーソンの明確化
- 同じ目標を持って、他職種で連携する場作り

④具体的な行動計画⑤実施時期

課題	誰が	何を	どのように	いつまでに
①限られた社会資源の明確化	地域連携室職員	八幡浜市大島地区、伊方町三崎地区の社会資源	<ul style="list-style-type: none">・ 必要な情報の収集は、八幡浜市地域包括支援センターや伊方町地域包括支援センターへ確認・ 大島診療所、串診療所、門田医院へ薬剤等できることの確認・ 八幡浜地区緩和ケアコーディネーター(医師会)へ確認	12月28日までに

④具体的な行動計画⑤実施時期

課題	誰が	何を	どのように	いつまでに
②課題に取り組むキーパーソンの明確化	地域連携室職員	八幡浜市大島地区、伊方町三崎地区のキーパーソン	<ul style="list-style-type: none">・大島地区に関しては市立八幡浜総合病院院長へ相談・伊方町三崎地区に関しては三崎居宅介護支援事業所へ確認・八幡浜地区の緩和ケアコーディネーター(医師会)へ確認	12月28日までに

④具体的な行動計画⑤実施時期

課題	誰が	何を	どのように	いつまでに
③他職種で連携する場作り	地域連携室職員	課題と目標の共有 活動計画の立案と共有	八幡浜市介護医療連携ネットワーク会を活用一緒に問題点を共有する。 問題点共有後、活動計画を提案し、実施。	12月12日の開催時には口頭で相談 次回開催時に検討 (①と②の資料作成し提示)